

志教育全体計画

建学の精神
尚志育英

本校の教育目標		
心身の健康 清潔で健康な生活をする ことを心がけさせるとともに、 進んで心身を鍛え、明るく清く、 どんな困難に出合っても、くじけない意志 と体力を身に付けさせるよう努める。	知性の伸長 青年のもつ無限の可能性を引き出し、 伸ばしていくことを心がけるとともに、 常に広く調和のとれた教養を身につけさせるよう努める。	人格の尊重 正しく自己を愛し、他をも愛する愛情を育み、互いに信頼を深め合える誠実で頼もしい生徒の育成に努める。

保護者や地域の願い
生徒の殆どが栗原市内の中学校出身者であり、ほとんどの保護者・生徒が大学進学を希望している。また、本校は地域に根差した高校として、数多くの人材を輩出してきた。 ▼1. 生徒一人ひとりの学力を向上し、きめ細やかな指導により、進路の達成を目指す。 ▼2. 世俗に負けぬ、清々しく心身ともに健康な青年を育成する。 ▼3. 衆知を集め、より良いことは勇断を持って実行し、調和のとれた人間形成を目指し、活気ある学校であって欲しい。

生徒の実態・教師の願い
・素直で純朴で思いやりのある生徒が大半を占め、教師の指導を素直に受け止め、学校生活をより良くしていこうという全体の雰囲気がある。 ・基礎学力を確立し、自己に対する自信を持ち、周囲に影響されない生徒に育って欲しい。 ・協調性をもって社会の一員としての使命を果たし、激動する社会の中で心身ともに健康な人間を育成したい。

「志」教育の目標
・夢や希望の実現を目指し、あきらめずに忍耐強く取り組み、将来社会人として自立するとともに、生涯にわたり学び続ける生徒の育成。 ・生徒相互の信頼関係を築き、他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりを持って接し、豊かな人間関係を築いていく生徒の育成。 ・自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、学び方やものの考え方を身に付け、自己のあり方・生き方を考えることのできる生徒の育成。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
他者の価値観や個性を理解させるとともに、自己理解を深めさせる。また、適切なコミュニケーションを図りながら集団での生活を送らせる。	将来の職業や生き方について考えさせ、その具体化に向けて、学習や体験活動に全力で取り組ませる。	学校や社会において自分が果たすべき役割を自覚させ、責任を果たすことで自己有用感を高めさせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	・進路実現に必要な基礎基本の定着と学ぶ意欲の向上 ・課題解決的学習の積極的な展開 ・安全を心がける態度の育成
道徳	・基本的な生活習慣の育成と心身の健康増進、調和のある生活の実現 ・目標に向かって努力する態度の育成 ・他者の立場を尊重し、感謝と思いやりの心の伸長 ・社会の法やさまの意義を理解と責任ある行動の育成 ・勤労の尊さ・意義の理解
特別活動	・心身の調和の取れた成長と個性の伸長 ・集団の一員としての役割と責任の自覚 ・協力的な態度と自主的・実践的な行動力の育成 ・信頼・尊重しあい、切磋琢磨する人間関係の育成
その他	・部活動への積極的な参加と取組による心身のバランスのとれた人格の形成 ・身だしなみを整え、マナー向上に努める態度の育成
総合学習	・横断的・総合的で探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、学び方やものの考え方を身につけ、自己の在り方生き方を考えることができる力の育成
家庭との連携	
・PTA活動や学校評価等とおし学校と家庭との情報交換を図りながら、家庭学習や交通安全等の基本的な生活習慣の確立に努める。	

各学年の取組内容	
1学年	高校生活オリエンテーション(4月) スタディサポート(3月) 労働に関する講話(6月) キャリアガイダンス(10月) 小論文講演会(11月) 進路講演会(1月) 夏期・放課後課外
2学年	スタディサポート 2・3年合同進路ガイダンス(5月) 大学出前授業(6月) 三校合同合宿(8月) 小論文講演会(9月) 進路講演会(10月) 労働に関する講話(6月) 進路ガイダンス(2月) 夏期・放課後課外 公務員課外(10月～3月) 進路決定者の体験発表(1月)
3学年	2・3年合同進路ガイダンス(5月) 大学出前授業(6月) 夏期勉強合宿(8月) 推薦入試・センター試験説明会 小論文添削指導(7月～3月) 夏期・放課後課外
全学年	二者面談(5・1月) 三者面談(7月) 先輩から後輩へ(進路体験発表会) オープンキャンパス見学会(大学4校)
地域との協働	
・学校のタイムリーな情報発信や、学校公開等を通じ、開かれた学校づくりを進める。	